



## 中国、韓国の歴史専門家来日

～歴史教育交流事業(日中・日韓)～

当協会(IFA)が平成17年度から毎年実施している「歴史教育交流事業」は、今年度、3月第1週に中国、第2週に韓国から歴史教育専門家を招き、日本側専門家との意見交換や講演会等を通して相互理解を図るべく準備を進めている。ここに中国、韓国の専門家による講演会をご案内するとともに3回目となる本事業を振り返ってみる。

本事業は、参加した専門家が個人の資格で自由に意見交換を行うもので、これまで延べ24名の専門家が歴史教育を取り巻く現状や課題について論じ合い、民間レベルで理解と認識を深めてきた。歴史認識、歴史教科書、歴史研究の動向、歴史教育の比較研究、交流史等二国間の関係だけでなく、より広い視点からの国際的歴史相互理解、国際関係史、文化交流史、人類文明史という切り口での議論が目立っている。

日中、日韓間には偏見や無知による

誤解や互いに相容れない国民感情がまだまだ存在する。本事業の達成目標を聞かれれば、両者が意見の一致を見るのではなく、互いの考えや背景をまずは認識すること、そこからすべてが始まると考える。

今年度の講演会も一般公開となり、

参加者との質疑応答や意見交換を行う。日本側専門家との討論も予定され、今回も熱気に満ちた時間となろう。

講演会のお問い合わせは：

当協会 TEL03-3582-3021

<http://www.ifa-japan.org>

担当:長谷川 hasegawa@ifa-japan.org

### 中国 3月5日(水) 10:00～15:30

於：東京大学駒場キャンパス18号館

1. 競存と倫理--歴史を反省する中の「道」と「術」(姜義華先生/復旦大学人文学院院长)

●生存第一から人や倫理を第一に考えなければならない時代に入った中国。それに伴い変化している歴史の見方や研究者の対象や方法について語る。

2. 1960年代における中日文化交流の展開と意義(胡令遠先生/復旦大学日本研究センター副所長)

●日中国交回復前、文化大革命の1960年代にも日中間には様々な交流が実在した。いくつかの事例を示しながら人々の交流と文化交流を通じた日中間係を考える。

3. 近代日本におけるアジア主義と対中関係への影響(高蘭先生/上海社会科学院アジア太平洋研究所助教授)

●近代日本における欧米協調路線とアジア提携論が中国にどのような影響を及ぼしたかを考察する。

### 韓国 3月12日(水) 10:00～15:30

於：東京大学駒場キャンパス18号館

1. 文化の収斂(しゅうれん)と拡散--正しい歴史理解と教育に関連して(車河淳先生/西江大学校名誉教授)

●歴史・文化の理解・教育は自国史の立場からのみではなく、より幅広い観点から行わなければならないとの考えを長年の研究と経験に基づき報告する。  
(\*収斂:縮むこと、収縮)

2. 韓国における歴史教育課程の変化と新しい代案教科書の登場

(李明熙先生/公州大学校師範大学歴史教育科副教授)

●2007年から中学・高校の教科書が検定制度になった韓国。教科書編集に長年携わってきた講師が、教科書を取り巻く韓国の最近の動向について語る。

3. 占領軍への手紙から見る「占領」認識の韓日比較(鄭容郁先生/ソウル大学校人文大学国史学科副教授)

●占領下における日本人と在日朝鮮人の意識の違いを占領軍への手紙を通して比較する。

## 世界万華鏡

“欧州の高校生の見た日本”

平成19年度日欧高校生交流プログラム 参加者

### イタリア・女子

ヴァレンティナ

11月10日、学校のOPEN DAYでした。中学生徒は千里高校を見に来ました。イタリアにOPEN DAYはありませんから今日も新しいいけいけんを出来ました。

### イタリア・男子

マルチェロ

日本では、人々がとてもいそがしいですが、ひつようの時に、優しく道を教えてたり日々の話をしたり、してもらう事は、大変いいことだと思います。

### イギリス・女子

ルービー

11月7日、今日学校の後で茶道のお稽古をしました。私は着物を着ました。すごい楽しかった。日本のお菓子を食べました。その時日本人は季節を大切にするんだなと思いました。着物はすごいきれいでしたが少しきつかったです。2時間着物を着ました。がんばった。

### エストニア・男子

セレン

授業で柔道着を借りた。黄いろくなっていておどろいた。IFAに聞いたら、洗濯してあるなら大丈夫と言われた。先生にもう少しきれいなのに代えてもらった。

### ドイツ・女子

ニコリン

日本でびっくりした事は学生たちの生活です。一番前のホストファミリーの娘は12

歳だったのに、毎日6時半に起きて、学校とならぬごとに行き、夜遅く帰って来て宿題して、23時早く寝ました。それはとても大変だと思います。

その上たんじょうびとクリスマスの日もびっくりしました。……クリスマスの日一つ特別な物はアイスケーキでした。プレゼントはありませんでした。

### ドイツ・男子

ルカス

ドイツの学校とすごちがいます。日本の生徒はドイツの生徒より思いやりのあるという印象を受けています。それに日本の生徒が規律がたくさんあると思います。たとえば生徒は階段室でぜったい走りません。そしてたいいてい自分でずかしているから集中よくできます。……日本の生徒がよく勉強していると思います。すごいです。学校は面白いけれど大変です。ドイツの学校よりむずかしいです。

### フランス・男子

フランソワ

10月5日、今日はぜったい楽しかったよ。クラスの遠足だった。そんな遠足がフランスにほとんどない。初めて行った。バスのうしろにすわっていて、女の子と一緒に話した。皆のことをいろいろきいた。それから、梨を採って、昼食を作って、おいしい物を食べた。最後に公園へあそびに行った。

### フィンランド・女子

アダ

12月8日、今日私と友だちいっしょに「かしやよこちょう」に行きました。あそこでいろんなふるいおかしを買える。たのしかったです！

### ベルギー・男子

アミ

最初に日本の生徒を見ると「かれらがかわいそう」とか「ドンダケ」とか、「ありえない」とか思ってたけれど、今は思い方を間違えたことに気づいたんです。あの経験のおかげで日本に戻るためにこれから懸命に勉強します。

### ラトビア・女子

ダーリヤ

学校での生活は規則がよく守られています。例えば、遅れない、掃除をすることです。服装も決められた制服があります。ラトビアには制服はありません。私は制服が好きです。

(日本語で書かれた日記・レポートより抜粋)

平成20年2月17日発行  
社団法人 国際フレンドシップ協会  
〒106-0041 東京都港区麻布台3-4-12  
麻布台ロイヤルプラザ502  
発行責任者: 及川 伊佐子  
編集: 事業部 03(3582)3021  
印刷: 音和堂印刷(株)